

# 三菱UFJ / AMP オーストラリアREIT ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)

## 愛称：コアランド

追加型投信 / 海外 / 不動産投信 特化型

作成対象期間：2021年3月16日～2021年9月15日

第73期決算日：2021年4月15日 第76期決算日：2021年7月15日

第74期決算日：2021年5月17日 第77期決算日：2021年8月16日

第75期決算日：2021年6月15日 第78期決算日：2021年9月15日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主として外国投資信託への投資を通じて、オーストラリアの不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用し、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざす運用を行います。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 第78期末 (2021年9月15日)

基準価額 3,564円

純資産総額 1,943百万円

#### 第73期～第78期

騰落率 +14.7%

分配金合計<sup>(\*)</sup> 180円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

#### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第73期～第78期：2021年3月16日～2021年9月15日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第73期首	3,271円
第78期末	3,564円
既払分配金	180円
騰落率	14.7%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ14.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

ファンドで保有する一部の銘柄がローカルベースで上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。保有銘柄の中では、「GOODMAN GROUP」（工業用）や「CHARTER HALL GROUP」（各種・分散投資型）などが上昇しました。オプション・プレミアム収入を獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。オーストラリアのREIT指数のコール・オプション取引に係る損失が発生したことが、基準価額の下落要因となりました。

2021年3月16日～2021年9月15日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第73期～第78期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	19	0.551	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 7 )	(0.205)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(12)	(0.332)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 0 )	(0.014)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	19	0.553	

作成期中の平均基準価額は、3,488円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

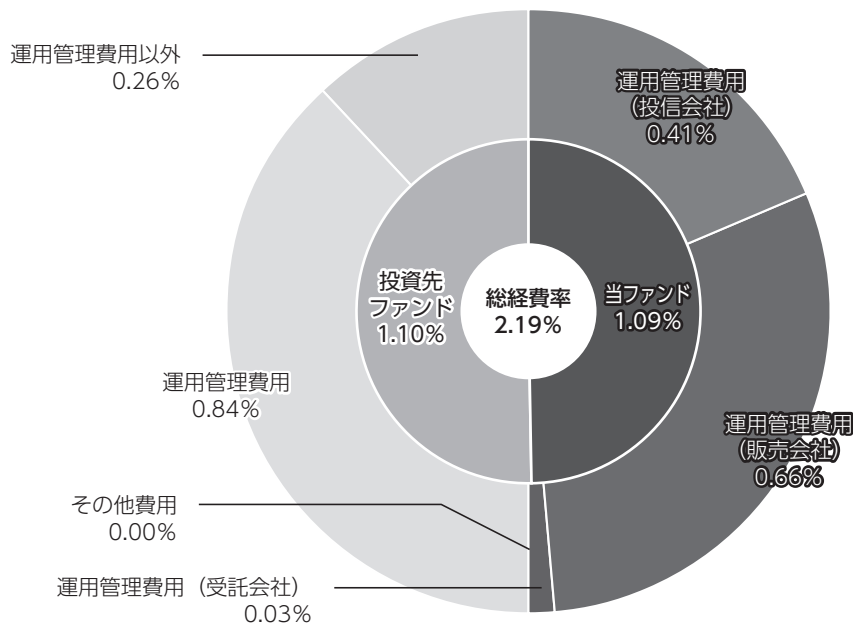
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.19
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.09
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.84
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.26

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年9月15日～2021年9月15日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2016年9月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2016/9/15 期初	2017/9/15 決算日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日	2020/9/15 決算日	2021/9/15 決算日
基準価額 (円)	7,363	6,163	4,879	4,143	3,113	3,564
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,560	1,230	900	600	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.0	-0.5	3.8	-10.3	27.3
純資産総額 (百万円)	11,050	6,654	3,695	2,915	2,157	1,943

※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第73期～第78期：2021年3月16日～2021年9月15日

## 投資環境について

### ▶ オーストラリアREIT市況

**オーストラリアREIT市況は、上昇しました。**

新型コロナウイルス危機後の回復が株対比で緩慢だったこともあり、投資家心理が引き続き良好な中で当作成期間のリートは株式を上回る上昇となりました。不動産用途別では、店舗用の上昇が抑えられた一方、工業用は堅調に推移しました。ワクチン接種は進んでいるものの、新型コロナウイルスの変異株などによる感染拡大懸念が再び意識され、回復が期待された店舗用の上値を抑え、成長が期待される工業用が選好される展開となりました。

### ▶ 為替市況

**豪ドルは、対円で下落しました。**

2021年5月まで高値で推移していたものの、6月以降は鉄鉱石の下落や中国リスクへの警戒感などから、豪ドルは軟調に推移しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.033%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)

外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### ▶ AMP オーストラリア リート ファンド

オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行うとともに、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オ

プションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用する運用を行いました。投資するREITについては、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される工業用の優良な物件を保有する銘柄に注目した運用を行いました。

当作成期は、工業用や各種・分散投資型などの投資比率を引き上げた一方、店舗用などの投資比率を引き下げました。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2021年3月16日～ 2021年4月15日	2021年4月16日～ 2021年5月17日	2021年5月18日～ 2021年6月15日	2021年6月16日～ 2021年7月15日	2021年7月16日～ 2021年8月16日	2021年8月17日～ 2021年9月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.862%)	30 (0.863%)	30 (0.833%)	30 (0.851%)	30 (0.846%)	30 (0.835%)
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,366	1,399	1,432	1,463	1,490	1,517

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)

外国投資信託への投資を通じてオーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

### ▶AMP オーストラリアリートファンド

オーストラリアREITは、短期的には新型コロナウイルスの収束までの期間が不透明なことの影響や長期金利の上昇懸念などを受けて市場の値動きが大きくなると見込まれるものの、足下では新型コロナウイルスワクチンの広範な接種による経済正常化期待を受けた投資家心理の回復などを背景に徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。

不動産の用途別では、工業用のリートに関しては、オンライン・ショッピング市場の拡大期待などを背景に事業環境は良好であり、また、直近で発表された業績ガイダンスも底堅い内容であったことなどから魅力的とみています。シドニーやメルボルンの住宅市場に関しては、新型コロナウイルスの影響を背景に今後数年

間で同国への移民者数が減少すると予想される一方、政府の支援策などが住宅市場の落ち込みを軽減しており、足下の住宅価格は上昇しております。また、今後も住宅価格は回復していくと予想していることから魅力的にみています。一方で、店舗用不動産は足下の同国の消費者信頼感の回復や住宅市場の改善などを受けて、大型店舗用不動産の収益回復を見込んでおりますが、オンライン・ショッピング市場の台頭に伴い、実店舗の収益への下押し圧力が想定されることから慎重にみています。オフィスに関しては、テナント企業との賃貸借契約が中長期であることや足下の新型コロナウイルスワクチンの普及は評価している一方、オフィス・スペースへのテナント需要が雇用情勢や働き方の変化などを受けて一部減退するとみており中立としています。引き続き、オーストラリアREITは、豪準備銀行（RBA）による金融緩和策などを背景とした低金利環境継続の恩恵や、相対的に高い配当利回りやディフェンシブ性に着目した資金流入の高まりなどが期待されます。不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産を保有する銘柄に注目しています。

運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行

い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

また、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用します。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

- ・該当事項はありません。

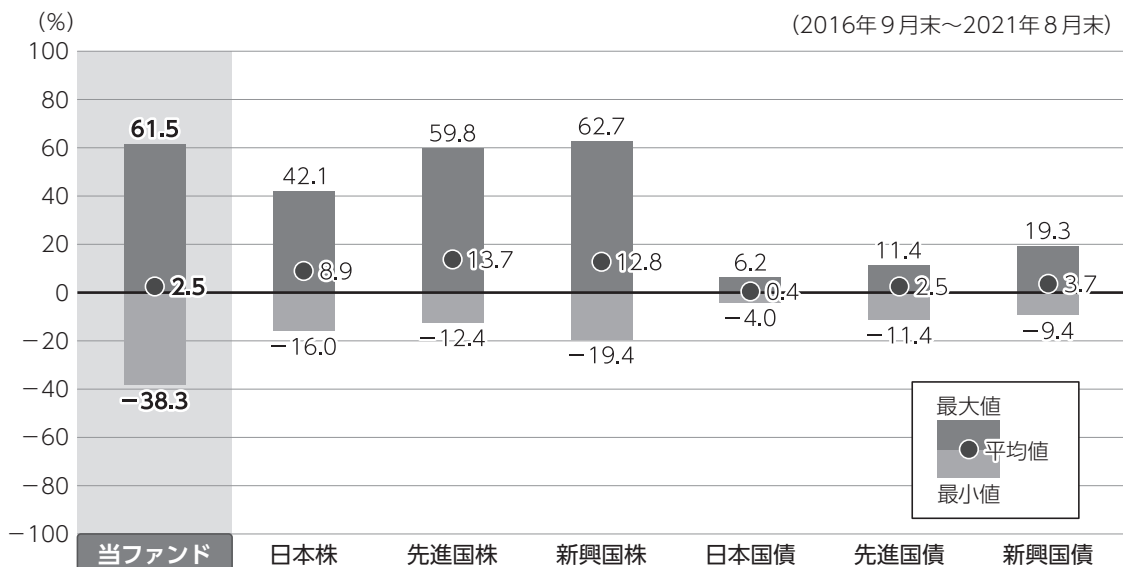
\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特化型</span>
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるAMP オーストラリア リート ファンドの投資信託証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMP キャピタル・インベスターズ・リミテッドが行います。また、カバード・コール戦略の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド AMP オーストラリア リート ファンドおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■AMP オーストラリア リート ファンド オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	オーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度\*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
  - ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- \*寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年9月から2021年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2021年9月15日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第78期末 2021年9月15日
AMP オーストラリア リート ファンド	99.0%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.6%

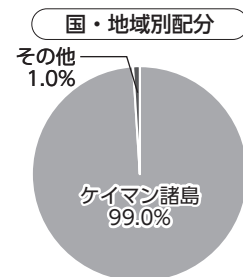
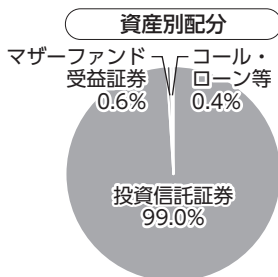
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第73期末 2021年4月15日	第74期末 2021年5月17日	第75期末 2021年6月15日	第76期末 2021年7月15日	第77期末 2021年8月16日	第78期末 2021年9月15日
純資産総額 (円)	2,224,212,172	2,010,489,702	2,024,074,415	1,955,005,893	1,959,929,567	1,943,945,216
受益権口数 (口)	6,444,502,038	5,835,546,134	5,666,730,874	5,594,908,294	5,576,552,496	5,454,709,006
1万口当たり基準価額 (円)	3,451	3,445	3,572	3,494	3,515	3,564

※当作成期間中（第73期～第78期）において追加設定元本は126,320,650円  
同解約元本は1,375,386,649円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



2020年9月30日現在

組入上位ファンドの概要

AMP オーストラリア リート ファンド

基準価額の推移

2019年9月30日～2020年9月30日



1万口当たりの費用明細

2019年10月1日～2020年9月30日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

【参考情報】

費用項目	比率
運用管理費用 (信託報酬)	0.85%
その他	0.26%
費用合計	1.11%

※上記は、AUDITED REPORTに掲載されている費用明細を三菱UFJ国際投信が「運用管理費用 (信託報酬)」と「その他」に分類して表示したものです。

※運用管理費用には、受託会社に対する固定報酬が含まれています。

※比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

組入上位10銘柄

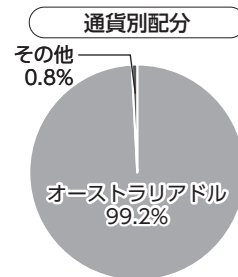
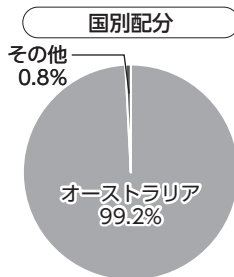
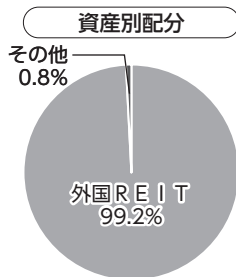
(組入銘柄数：19銘柄)

順位	銘柄	種類	国	比率(%)
1	GOODMAN GROUP	REIT	オーストラリア	30.9
2	SCENTRE GROUP	REIT	オーストラリア	8.9
3	STOCKLAND	REIT	オーストラリア	8.4
4	CHARTER HALL GROUP	REIT	オーストラリア	8.3
5	MIRVAC GROUP	REIT	オーストラリア	7.4
6	DEXUS	REIT	オーストラリア	6.3
7	GPT GROUP	REIT	オーストラリア	4.5
8	CHARTER HALL LONG WALE REIT	REIT	オーストラリア	3.4
9	WAYPOINT REIT	REIT	オーストラリア	3.2
10	INGENIA COMMUNITIES GROUP	REIT	オーストラリア	2.9

※比率は円建外国投資信託の純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

968469

2021年5月20日現在

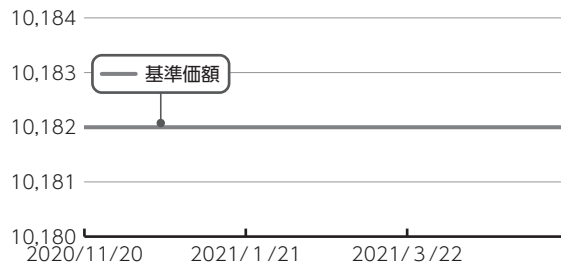
## 組入上位ファンドの概要

## ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

## 基準価額の推移

2020年11月20日～2021年5月20日

(円)



## 1万口当たりの費用明細

2020年11月21日～2021年5月20日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

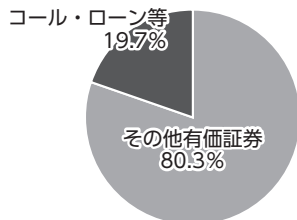
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	SMTパナ 210521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	64.3
2	ショウワリース 210521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	16.1
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

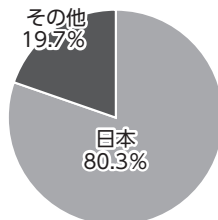
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 種別構成等

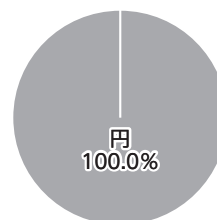
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信